

追分ナシの元祖

海山 徳治郎

うみやま とくじろう

出身地 潟上市（旧天王町）

1877年（明治10年）～1933年（昭和8年）

石川理紀之助や農事試験場技師島田五郎の助言を受け、追分の砂丘を開拓。虫害や干害と闘いながら、ナシとブドウの栽培に成功。「長十郎」種は全国的に優秀品と評価された。



年譜

- 1877年 潟上市（旧天王町）に生まれる。
- 1903年 石川理紀之助の教えを受け、砂丘地を開拓。「長十郎」などの和ナシの栽培を始める。
- 1916年 追分園芸会を組織。技術や経営の研究、販路の拡張をはかる。
- 1918年 長十郎は北海道、関東方面にも移出、知名度が高まる。
- 1922年 ブドウ栽培に取り組む。後に、寒地では難しいと言われる甲州種の苗を植え付け成功。
- 1933年 潟上市（旧天王町）で没。56歳。